

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

① 第三者評価機関名

社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会

② 施設・事業所情報

名称：大垣市立牧田こども園	種別：幼保連携型認定こども園			
代表者氏名：園長 澤藤 美佳	定員（利用人数）：85名（35名）			
所在地：岐阜県大垣市上石津町牧田2101番地				
TEL：0584-47-2604				
HP：https://www.city.ogaki.lg.jp/soshiki/19-16-0-0-0_10.html				
【施設・事業所の概要】				
開設年月日：令和7年				
経営法人・設置主体（法人名等）：大垣市				
職員数	常勤職員	11名	非常勤職員	3名
専門職員	保育教諭	9名	調理師	2名
施設・設備 の概要	乳児室・ほふく室・調乳室	1室	沐浴室	1室
	保育室	4室	調理室	1室
	一時保育室	1室	職員室、医務室、教材室	
	遊戯室	2室	砂場、支援センター	

③ 理念・基本方針（※転載）

理 念

子ども一人一人を大切にし、保護者・地域から信頼され愛されるこども園基本方針

基本方針

明るく元気な子 友達と楽しく遊べる子 よく考えて行動する子

④施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

当園は、かつての中山道関ヶ原宿から伊勢国に向かう伊勢西街道の宿場町として賑わった大垣市上石津町牧田地域に位置している。当園の前身である牧田保育園は、昭和28年に旧牧田村立牧田小学校の校舎の一部を開放し開設したとされ、現在の園舎は平成15年に現在地に移転改築されている。その後、平成18年の市町村合併に伴い、大垣市立牧田保育園となり、今年度からは認定こども園に移行し、現在は大垣市立牧田こども園として運営されている。当園は地域子育て支援センターを併設しており、牧田地域の子育て施設として、中心的役割を果たしている。また、地域の木材をふんだんに使って建てられた園舎は、里山の景観にも調和した木の温もりが伝わる、こどもたちの教育・保育に適した環境となっている。

園では、地域との連携を特に大切にしており、地域のイベント等にも積極的に参加し、交流を図っている。園の環境整備も地域のボランティアの方が行っている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和7年5月20日（契約日）～ 令和8年3月4日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	－

⑥総評

◇特に評価の高い点

- ・年2回の園による自己評価に加え、保護者評価、地域の評議員の意見聴取を行い、園評価として結果をまとめ、次年度に向けた課題を明確にしている。その後、職員で改善策を話し合い、改善に繋げている。こうした改善に向けた取組が、毎年度組織的に行われている。
- ・週1回週案会を行い、他クラスとの交流や保育内容について話し合い、実施したことを反省し、次週の計画作りに役立てている。
- ・個人目標管理シートで立てた目標の自己評価を年2回行い、さらにその進捗状況の確認のための面談を行い、アドバイスや頑張りを評価し、職員の資質向上に努めている。職員が園外の研修に参加できる機会を確保し、また職員が記入する保育日誌には、共感や認め言葉を記入するなど、日常的にきめの細かい指導が行われている。
- ・大垣市と共に作成された様々なマニュアルがあり、市と共に子どもたちの育ちを保証していく姿勢が随所に感じられた。
- ・子どもの減少が多い地域だからこそ地域に密接することも園として運営されている。
- ・小規模の園であるが故、人材の確保が難しいが、支援センターの職員と協力し合って研修などにも積極的に参加されている。
- ・障がいのあるお子さんに対して、お母さんからの相談に対応する仕組みができています。特別支援コーディネーター、統合保育コーディネーターの配置により専門機関に繋げることができる。また、保健センターが4歳児全体にアンケートを行うことにより、支援が必要な子どもと繋がる仕組みがある。

◇改善を求められる点

- ・園舎の敷地が広く、保育室間が離れているので、大きな音のホイッスルや楽器による合図の訓練など、不審者を確認した際に園舎全体に伝わる工夫が必要と思われる。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度の第三者評価におきまして、園の特徴的な取り組みや運営、保育などに高く評価をいただき、身に余る思いです。

今後も職員一同で「子ども一人一人を大切にし、保護者・地域から信頼され、愛されるこども園」を継続して運営できるよう努めてまいります。

ご指導いただきました点は、保育課や職員と話し合い、改善方法を考えたいと思います。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。